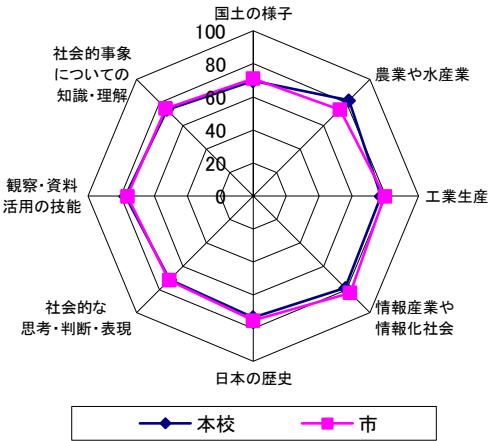


宇都宮市立平石北小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の様子	69.7	71.0	69.4
	農業や水産業	81.8	74.0	69.0
	工業生産	77.3	79.4	75.4
	情報産業や情報化社会	78.8	82.8	88.7
	日本の歴史	73.5	75.2	72.7
観点別	社会的な思考・判断・表現	71.6	71.9	67.2
	観察・資料活用	77.4	76.3	70.7
	社会的事象についての知識・理解	73.9	75.1	73.4

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。
(社会では本市独自の設問が含まれるため、参考値は全設問に対応した値ではない。)



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の様子	●本校の平均正答率は69.7%であり、市の平均正答率を1.3ポイント下回っている。 ○日本の周辺の海洋名の問題では、約90%の正答率である。 ●日本の周囲の国の国旗や国土の主な山脈、川、平野の名称についての問題では、市の平均正答率を下回っている。	・地球儀や地図、資料集の活用を大切にした指導を継続して行う。 ・インターネットや図書資料から調べたことをノートや新聞等にまとめる活動を通して、主な国の名称や位置、文化への理解が深まるようにする。
農業や水産業	○本校の平均正答率は81.8%であり、市の平均正答率を7.8ポイント上回っている。 ○稲作の工夫や努力について資料を読み取る問題では、100%の正答率である。 ○日本が食料確保においてかかえる問題について、読み取って考える問題では、市の平均正答率とほぼ同じである。	・日本の食料生産について、グラフから何が読み取れるかをじっくり考える場面を設け、現状と解決策を話し合うようにする。 ・今後も理科や総合的な学習の時間の「お米大百科」の学習などの他教科・他領域との関連を大切に学習を展開していく。
工業生産	●本校の平均正答率は77.3%であり、市の平均正答率を2.1ポイント下回っている。 ●工業製品を、工業の種類別に分類・整理する問題では、市の平均正答率を10.5ポイント下回っている。 ○工業生産に従事している人々による、環境保全のための工夫や努力について考える問題では、100%の正答率である。	・今後も、自動車工場見学などの本物を見て気が付いたことやグラフから読み取って考えたことを話し合う場面を設け、考える力・表現する力が向上するようにする。 ・資料からどんなことが読み取れるのか、説明に適した資料はどれなのか、多くの問題に取り組むことで、課題を解決する力が高まるようにする。
情報産業や情報化社会	●本校の平均正答率は78.8%であり、市の平均正答率を4ポイント下回っている。 ○テレビやラジオ、新聞などの情報の情報手段についての問題について、市の平均正答率を2.5ポイント上回っている。 ●医療現場での情報ネットワークの活用で、サービスが向上したことに関して資料を読み取って考える問題では、市の平均正答率を10.5ポイント下回っている。	・今後も自分の身のまわりのメディアやインターネットに注意深く目を向ける力を養うため、情報モラル教育の充実を図る。 ・道徳などの他領域の学習とも関連付けながら、課題を解決する力を高めることができるようにする。
日本の歴史	●本校の平均正答率は73.5%であり、市の平均正答率を1.7ポイント下回っている。 ●古墳づくりの背景や鎌倉幕府が開かれた背景、国会開設までの過程について読み取る問題では、市の平均正答率を下回っている。 ○江戸時代の文化の特色や日露戦争についての問題では、市の平均正答率とほぼ同じである。	・今後も歴史への興味・関心を高めるため、資料集や動画を活用し、学習内容が理解しやすいようにしていく。 ・歴史上の人物を主人公にした図書の紹介や新聞作りを継続して行い、学習内容の定着を図る。